

6月16日(木) 静岡県図書館職員等専門研修・児童青少年サービス研修が行われました。本年度の研修会ではヤングアダルト(以下「YA」という。)関連の図書を出版している講談社の編集者阿部薫氏に、子どもたちに人気のある本と、その作り手である作者の思い等を伝えていただきました。

青い鳥文庫『夢水清志郎(ゆめみずきよしろう)シリーズ』の著者、はやみねかおる氏は、もともと小学校の教師をしていたそうです。子どもたちに、楽しくて楽しくて...という本を読んでほしいと思ったことが、子ども向けの作品を書くようになったきっかけでした。現在は本格ミステリーを目指しながらも、教える子たちにメッセージを伝えたいという思いで、作品作りをしているそうです。

『バッテリー』が人気のあさのあつこ氏が、『#6』という作品を書き始めたきっかけは、2001年9月11日に起きた同時多発テロ事件。国家と個人に対する思い、子どもたちのことを考えたいという思い。それらが『#6』というサバイバル物語につながっています。今後は特権階級と彼らが住む地域、富める階層と貧しい階層を対比しながら、いろいろな読み取り方ができる物語として展開していくそうです。

他にも、『パスワード』シリーズの松原氏の裏話なども話されました。編集者の子どもたちに対する本作りの姿勢として、「友情や正義感、非あるところを直すような直球勝負をしていきたい。現実感のあるものを誠実に作っていかねければ、子どもは見抜く。子ども向けの作品であってもテーマ性を持たせた作品を多く手がけていきたい」という言葉が印象に残りました。

さて、最近、いろいろな出版社ではっきりと「YA」を対象にした本が出版されるようになりました。出版業界による、子ども達の中で一番読書から遠ざかっているように思われる層(読書調査から)への挑戦が始まったといえるかもしれません。振り返って、図書館では、思春期の多感な子どもたちに対するサービスが展開されているでしょうか。読み聞かせを楽しみ、小学校では多くの本を読んでいただろう子どもたちに、引き続き本を楽しむ機会を提供していくには、どのような手立てが考えられるでしょう。

その世代の発達段階や心理を学ぶことももちろん必要ですが、今回の研修に参加していた高等学校の学校司書の方によると「学校図書館では、ただ書架に並べておいただけの本は手にとられることは少ないが、特集などでブックトラックに並べて紹介すると手に取られ、貸し出されていく」そうです。書店で言えば、平積みされた本に、書店員によるポップがついた状態でしょうか。その世代の子どもたちが読みそうな、あるいは薦めたい本(絵本も含め)を図書館員が読ん

で、YA向けに紹介するなど、その情報発信の方法を考えることがYAサービスを展開する一つの突破口となりそうです。(中村 都美)

文字・活字文化振興法案、最終案がまとまる

4月29日(金)読売新聞に「子どもがキレるのは、頭が一瞬真っ白になり、言葉をなくした時に起きる。子どもたちに豊かな言葉の経験をさせていないのではないか。...」と国会議員肥田美代子氏が**活字文化立法**について語った記事が掲載されましたが、「文字・活字文化振興法案」の最終法案がまとまったようです。肥田氏が自身のホームページに紹介しておりますが、公立図書館及び学校図書館に関わる項目は次の通りです。(中村 都美)

(関係機関等との連携強化)

第六条 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策が円滑に実施されるよう、図書館、教育機関その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(地域における文字・活字文化の振興)

第七条 市町村は、図書館奉仕に対する住民の需要に適切に対応できるようにするため、必要な数の公立図書館を設置し、及び適切に配置するよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、公立図書館が住民に対して適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとする。

(学校教育における言語力の涵養)

第八条

2 国及び地方公共団体は、学校教育における言語力の涵養(かんよう)に資する環境の整備充実を図るため、司書教諭及び学校図書館に関する業務を担当するその他の職員の充実等の人的体制の整備、学校図書館の図書館資料の充実及び情報化の推進等の物的条件の整備等に關し必要な施策を講ずるものとする。

- 肥田氏ホームページ

(<http://www1.ocn.ne.jp/~miyoko/>) より -

イベント・講座情報

静岡県子ども読書フェスティバル

日時：平成17年8月7日(日) 10:00~15:30

活動展示は6日(土)7日(日)に開催

会場：静岡県立中央図書館全館

主催：静岡県読み聞かせネットワーク

問い合わせ・申し込み：飯野 紀代子

TEL&FAX 054-245-5843